

【西南戦争を掘り・学ぶ事業学習指導案】

令和2年7月29日（水）
 大口高等学校日本史 3年生30名
 4校時
 県立埋蔵文化財センター
 湯場崎・山崎

1 5校時指導案

(1) 目標

発掘調査成果を中心に、遺跡や文化財、資料などを活用して、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

(2) 実際

過程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点	
導入	1 埋蔵文化財センターの仕事理解する。	10	○ DVDを活用し、埋蔵文化財センターの仕事内容を簡潔に説明する。	○ ヘルメット・ジョレン・移植ごて	
	2 本時の目標 埋蔵文化財センターと地域の遺跡を理解する。				
展開	3 世界遺産と発掘調査の関わりを知る。 ① 発掘調査から鹿児島紡績所の位置を確定したことを知る。 ② 鹿児島紡績所技師館が現在の位置と当時の位置が違うことを確認する。	5	○ 鹿児島の誇る史跡集成館や鹿児島紡績所跡などと発掘調査が関わっていることを説明する。		
	4 縄文時代のついて学習する。 ① 全国の遺跡数を予想する。 ② おおよそどの位前か。 ③ 三内丸山遺跡や吉野ヶ里遺跡と上野原遺跡を知り、鹿児島の縄文土器の特徴を知る。 ④ 竪穴住居跡や石器を紹介し、石器の本物を提示して、その使用方法を知る。	20	○ 全国のコンビニ数の約8倍であることを説明する。 ○ おおよそ1万年続いたことを説明する。 ○ 竪穴住居に住む人数や石器の使い方を知る。 発掘調査の成果から、どこまで研究が進んでいるのか説明する。	○ プレゼンテーション	
	5 地域にある縄文時代の遺跡を知る。 ① 標式土器出土地である塞ノ神遺跡と手向山遺跡を知る。 ② 伊佐市は黒曜石の産地であることを知る。	10	○ 伊佐市に九州の縄文時代早期を代表する遺跡が存在することを強調する。 ○ 大口でとれた黒曜石が県内各地で石器に使用されていることを説明する。		
	6 本物の土器や石器に触れる。		○ 破損がないように丁寧に扱うように指示する。	○ 土器を2点ほど用意する。	
	終末	7 本時のまとめをする。 自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人達の働きについて考える。	5	○ 地域の歴史が教科書にある日本の歴史と密接に繋がっていることを説明する。	

(3) 評価

- ・ 地域にある文化財や資料から、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解できたか。